

* 関 勝 則 「時代を映した横浜の歌」 探訪。

《21》 横浜で生まれ 横浜で歌い継がれた 「横浜ホンキートンク・ブルース」

「別れのブルース」「伊勢佐木町ブルース」をはじめ、横浜はブルースが似合う街という印象があります。その中でも横浜のブルースナンバーの代表曲になって数多(あまた)のシンガーによって歌い継がれている曲があります。それが「横浜ホンキートンク・ブルース」です。

王選手がホームランの世界記録を達成し、キャンディーズが「普通の女の子に戻りたい」と発言して解散、カラオケが誕生した1977(昭和52)年に、この曲は意外な経緯で生まれました。ザ・ゴールデン・カップスのメンバーとして活躍し解散後も音楽活動を行っていたエディ藩が演奏していた曲が「横浜ホンキートンク・ブルース」。たまたま聞きに来ていた横浜の名優、藤竜也が、「すごくいい曲だけど詞がちよっと」ということで、その場で藤竜也が改詞に挑んだという逸話があります。こうして横浜に関わりの深い二人によって作られた曲が伝説のブルース曲として歩み始めました。最初にレコードを世に出したのは作詞の藤竜也、曲名は「ヨコハマ・ホンキートンキー・ブルース」でした。大島渚監督の『愛のコリーダ』に主演し話題になった後、俳優活動から遠ざかっている時期にレコードを出さないかという依頼があり、出向いてみたらこの曲だったと当時の経緯を藤竜也自身が振り返っています。

「♪ひとり飲む酒 悲しくて映るグラスはブルースの色～」の歌い出しで始まるこの曲には、「飯を食うなら『オリジナルジョーズ』」や「ニューグランドホテルの灯りが染む」など、横浜市民にとっては懐かしいフレーズがちりばめられています。



ニューグランドホテル

「オリジナルジョーズ」は当時関内におり、実際によく通っていたイタリアンレストラン。ホテルニューグランドのバー「シーガーディアン」には、藤竜也が命名した「ヨコハマElegance」というカクテルが存在します。エディ藩の他に、1981(昭和56)年に公開された映画『ヨコハマBJブルース』で主演の松田優作が挿入歌として歌い、その後も宇崎竜童、原田芳雄、新井英一、石橋凌、山崎ハコ、石黒ケイ、日野美歌など、エディ藩と親交の深いヴォーカリストたちに歌い継がれ、横浜で開催されるブルース系のライブには欠かせない曲になっています



平成31年度予算特別委員会 委員長報告

31年度の予算審査にあたり、予算第一特別委員長を務めさせていただき、会期末となる3月19日の本会議では、採決に先立ち審査の概要と結果について以下の通り委員長報告を行いました。

『我が国は急激に少子高齢化が進行し、本市においても今年をピークに人口が減少に転じることが見込まれ、かつて経験したことのない状況に直面しています。また人口急増期に集中して整備した都市インフラの老朽化が進み、適切な保全・更新を行っていく必要があります。このような中で、平成31年度の一般会計の予算規模は、施設等整備費や扶助費の増などにより、前年度と比較すると、20%増のプラス予算となりました。一方で中期的な財政見通しでは、32年度は270億円、33年度は340億円の収支不足が見込まれており、限られた経営資源を効率・効果的に活用することが求められています。そのためには、「横浜市将来にわたる責任ある財政運営の推進に関する条例」の趣旨を踏まえ、施策の推進と財政の健全性の維持を両立し、多様化・複雑化する課題に的確に対応していく持続可能な財政運営を進めていく必要があります。このような認識のもと、各委員の方々からは、連日ご熱心な質疑がございました。詳細につきましては省略させていただきます、その概要を申し述べます。

局別審査においては、医療局・医療局病院経営本部関係、◆がん・疾病対策◆医療人材の確保◆病床整備◆救急・災害医療等について。こども青少年局関係◆子育て支援◆児童虐待・DV対策◆放課後児童施策◆障害児の支援等について。都市整備局関係◆横浜駅周辺のみちづくり◆郊外部のみちづくり◆市街地開発事業◆神奈川東部方面線等について。教育委員会関係◆学校施設の整備・保全◆教職員の働き方改革◆ハマ弁◆特別支援学校等について。港湾局関係◆客船の寄港促進◆国際コンテナ戦略港湾◆港のにぎわいづくり◆ホテルシップ等について。国際局関係◆外国人材の受け入れ◆海外事務所◆第7回アフリカ開発会議◆姉妹友好都市・パートナー都市との交流等について。道路局関係◆都市計画道路の整備◆道路・河川の安全対策◆横浜環状道路◆無電柱化の推進等について。健康福祉局関係◆高齢者福祉の推進◆感染症対策◆障害者施策◆生活困窮者への支援等について。建築局関係◆建築物等の防災・減災対策◆空き家対策◆市営住宅◆持続可能な住宅地推進プロジェクト等について。経済局関係◆中小企業支援◆企業誘致◆ベンチャー企業支援◆商店街振興等について。

次に、予算第一・予算第二両特別委員会の連合審査による総合審査を行い、◆都市経営◆郊外部のみちづくり◆環境の保全◆働き方改革◆児童虐待◆協働・共創の推進等について質疑がありました。これらの審査を終えて付託案件の採決を行った結果、平成31年度横浜市一般会計予算関係部分ほか14件につきましては、いずれも原案可決と決定いたしましたので報告いたします。』